

## 第2学年国語科学習指導案

日 時 平成25年10月22日(火)3校時  
場 所 盛岡市立見前南中学校 2年3組教室  
生 徒 男子18名 女子16名 計34名  
指導者 赤木 智子

### 1 単元名 読書ボードで本の魅力を伝えよう

教材名 「走れメロス」(光村図書 中学校国語2年教科書)

補助教材 生徒各自が選んだ本

「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」(岩手県教育委員会 平成23年2月)

### 2 単元の目標と評価規準

#### (1) 単元の目標

◎ 互いの読みを交流し感じたり考えたりしたことを読書ボードの構成要素に組み入れて表現するとともに、出来上がった作品を鑑賞しあい自分の考えをもつことができる。

○ 小説に関心をもち、他との意見交流を積極的に行ってその内容を紹介しようとしている。

【関心・意欲・態度】

○ 文章の構成や展開、表現の仕方などを分析的に捉え、根拠を明確にして自分の考えをもつことができる。

【読むこと ウ】

○ 文章に表れているものの見方や考え方について、共感したり疑問をもったりするとともに、自分の知識や経験と関連づけて自分の考えを広げることができる。

【読むこと エ】

○ 意味の分からない語句を辞書で調べ、抽象的な概念を表す語、類義語と対義語、多義的な意味を表す語などと関連付けて言葉の意味をとらえることができる。

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 (1)イ(イ)】

#### (2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○ 小説に親しみ、見方や考え方を広げようとする。	○ ストーリーの展開や文章構成、描写の特徴などを分析的に捉え、自分の考えをもって本を紹介している。 ○ 選んだ本の文章に表れているものの見方や考え方について、共感したり疑問をもったりするとともに、自分の知識や経験と関連づけて自分の考えを広げ、本を紹介している。	○ 意味の分からない語句を辞書で調べ、抽象的な概念を表す語、類義語と対義語、多義的な意味を表す語などと関連付けて言葉の意味を考えている。

#### (3) 単元を貫く言語活動

読書会を通して読む力を高め、自分で選んだおすすめの本を「読書ボード」にまとめる。

### 3 単元について

#### (1) 子どもの実態

小説「盆土産」では、登場人物の言動や様子画描かれている表現に着目し、人柄や心情が分かる言葉に着目して学習を進めた。しかし、話の展開を追って読むことはできても、言葉にこだわって文章を読みこなすことはできていない。そのため、小グループや全体での意見交流での学習の際は、「なぜそう考えるのか」という点を重視した。

文章に書かれている内容を、自分の言葉でまとめて表現したり自分から考えを述べたりすることには躊躇する様子が見受けられる。

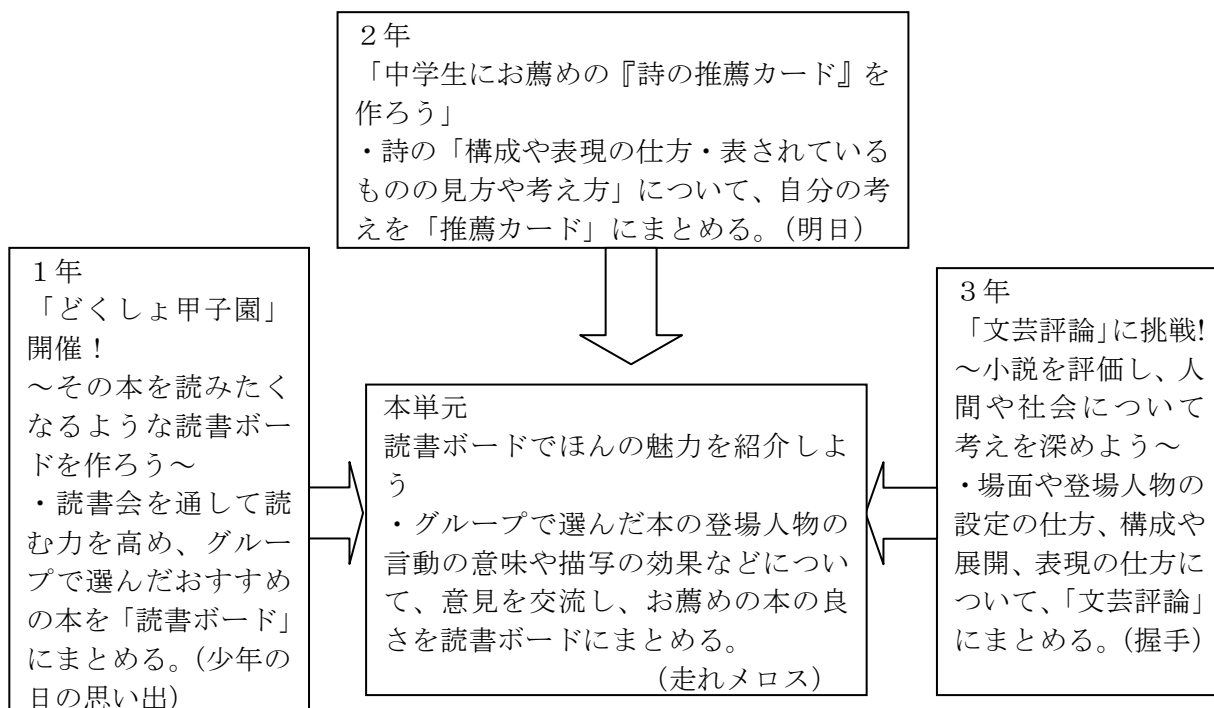
#### (2) 教材について

「走れメロス」では、メロスと王という二人の人物がともに変容していく。そこには、人間の心が状況と関係によって変化していくものであることが語られ、人の内面が周囲との関わ

りの中で形成されていく様子が描かれている。人間の内面の揺れや葛藤、苦悩、変化の過程などを読み取ることで、個々のものの見方、感じ方を深めることができると教材であるといえる。

それぞれが選んだ本で読書ボードを作るという活動を組み入れ、自分の知識や経験と関連づけた読書活動につなげさせたい。

◎単元の位置づけ【言語活動の系統】



(3) 指導について

この教材では、学習指導要領の「C読むこと」の中のエ「文章に表れているものの見方や考え方について、知識や体験と関連付けて自分の考えをもつこと。」を指導事項の重点ととらえ、指導する。

その前提として、グループ読書会で、視覚や聴覚などの感覚を生かして行動描写・情景描写を読む、題名について考えながら読む、構成をつかむ、時間や場所に注目して読む、話者や語り口をとらえる、登場人物の生き方に目を向けるなど、さまざまな読みができるようワークシートを工夫したい。

また、「読書ボード」の本の魅力の説明の中に要素として「構成・展開・表現の特徴(書きぶり)」が記載されるように配慮するとともに、多様なものの見方や考え方でお薦めの本を読めるように工夫したい。

4 単元の学習計画と評価計画

次	時	主な学習内容と学習活動	評価規準
1	1	1. 学習の見通しを持つ。 ①「どくしょ甲子園」の目的を知る。 ○ 「どくしょ甲子園」とは何か。 ○ 「読書ボード」とは何か。 ○ 「読書ボード」を作る過程やグループ読書で、どんな力がつくのか。 ②活動のゴールを知る。(モデル：先輩の作品) ③学習過程を知る。(読書会⇒読書ボード) 2. モデルとして提示した読書ボードのそれぞれの	読書会を通して 関読書目的を理解し、これからの学習の見通しをもつことができる。(発言・観察) 関・読モデルの読書ボードに関心を持ち、よさや工夫を見つけようとしてい

		工夫について気付いた内容を、個人で付箋に書いて「読書ボード」に貼る。 3. 今日の学習を振り返る。		る。(付箋、観察、評価カード)	
2		1. 3つのモデルの「読書ボード」それぞれの工夫をグループでまとめる。 2. 3つの「読書ボード」それぞれの工夫を全体でまとめる。 3. 自分はどのパターンでまとめたいと思ったか発表する。	読む力を高め自分で選んだおすすめの本を読書ボードにまとめる	読モデルの読書ボードの書かれ方を理解しようとしている。(黒板用短冊、観察)	
2	3	1. 「走れメロス」を読み、感想をもつ。		読疑問や考えたいことを書くようにしている。(学習シート)	
	4	1 意味のわからない語句を辞書で調べ、文脈上の意味を捉える。 2. グループ読書会のやり方を確認する。		言語句の意味をすすんで調べようとしている。(学習シート、観察)	
	5	1. グループ読書会をする。 2. グループ読書会の内容を全体で発表する。 3. グループ読書会を振り返る。		読登場人物の行動や考え方について、他の意見も聞いて考えようとしている。(学習シート)	
	6	1. グループ読書会を受けて、「走れメロス」を推薦する「読書ボード」の内容を考える。 ①個人で考える。 ○キャッチコピー ○印象的な本文の引用 ○本の魅力 (300~400 字程度) ○イラスト ②グループで話し合う。		読グループ読書会で見た意見を参考に、キャッチコピーや引用すべき文、本の魅力、効果的なイラストの描き方について個やグループで考えようとしている。(学習シート、観察)	
	7 8	1. 「走れメロス」を推薦する「読書ボード」を、グループで完成させる。 ○本をすすめるキャッチコピー ○印象的な本文の引用 ○本の魅力 (300~400 字程度) ○イラスト		読・書文章、イラスト、レイアウトや工夫しながら読書ボードを作ろうとする。(読書ボード、観察、評価カード)	
	9 本時	1. 「読書ボード」を交流する。 ①よいと思ったこととその理由を付箋に書き、貼る。 ②全体で交流する。		読互いの作品を鑑賞しながら、自分の表現のしかたについて見方や考え方を広げようとする。(学習シート、観察)	
朝読書や冬休みなどを活用し、自分のおすすめの本を読む。 (いわての中高生のやめのおすすめ図書100選)などを利用して本を選ぶ。)					
3	10	1. グループ読書会をする。 2. グループ読書会の内容を全体で発表する。 3. グループ読書会を振り返る。			読読後の感想を交流し、感想を深めようとする。(学

			習シート、観察)
11	1. グループ読書会を受けて、自分が推薦する「読書ボード」の内容を考える。 ①個人で考える。 ○本をすすめるキャッチコピー ○印象的な本文の引用 ○本の魅力 (300~400 字程度) ○イラスト ②グループで話し合う。		読 注目すべき言葉や描写を選び、表現方法を考えようとする。(学習シート、観察)
12	1. グループ読書会を受けて、自分たちが選んだ本を推薦する「読書ボード」の内容を考える。 ①個人で考える。 ②グループで話し合う。		読 グループで話し合ったことをもとにポスターの構成要素を考えている。
13 14	1. 自分たちが選んだ本を推薦する「読書ボード」をグループで完成させる。		読・書 レイアウトを工夫しながらポスターの構成要素を考えようとしている。
14 15	1. 「読書ボード」を交流する。 ①よいと思ったこととその理由を付箋に書き、貼る。 ②全体で交流する。		読 作品のよさを評価し、自分の表現の仕方を振り返っている。
事後	廊下に掲示する。		

## 5 本時について

### (1) 本時の目標

- ・作品を通し、それぞれの考え方を理解し、自分の考えを深めることができる。 【読む能力】

### (2) 本時の評価規準

評価の観点	評価規準 (B)	評価方法	(B) を実現していない生徒への手立て
読む能力	作品を比較して文章を読み、それぞれの考えや表現の違いを指摘する。	学習シート 観察 発表	周囲の意見に自分は共感するかしないかを考えさせる。

### (3) 本時の展開

段階	生徒の学習活動	指導上の留意点 (○) 評価 (◇) <形態>
導入 5分	1. 本時の学習課題を確認し学習活動の見通しをもつ。 それぞれの読書ボードを鑑賞し、よさや工夫を見つけよう。 ①個人で考える。 ②グループで話し合う。 ③全体交流 ④個人で振り返り 2. 役割を確認する。 ○グループ司会 ○記録 ○発表	○本時の学習課題と流れを確認させる。 <クラスワーク>

	○計時、準備	
	<p>3. 個人での考察 ○個人で、気づいたことや感じたことを記入する。</p> <p>4. グループでの考察 ○それぞれの考えを小グループ内で発表しあい、より確かな自分の考えを持つ。</p> <p>5. 全体での意見交流 ○グループでの話し合いの様子を発表しあう。</p>	<p>○自分のグループの作品と比較し、各グループの読書ボードのよさや工夫を見つけさせる。</p> <p>○付箋に気付いたことを書かせる。 ＜パーソナルワーク＞</p> <p>○個で考えたことをグループで出し合わせる。 ＜グループワーク＞</p> <p>＜クラスワーク＞</p> <p>◇読書ボードの構成要素に関連させてよさや工夫を作見つけ、感じたことを自分の言葉で表現しようとしている。 (学習シート、観察)</p>
終末5分	<p>6 本時の学習を振り返る。</p> <p>①読書ボードや話し合いから、学んだことや参考にしたいことを記述する。</p> <p>②考えを交流する。</p>	<p>＜パーソナルワーク＞</p> <p>○学習を振り返り、学んだことや感想を記入させる。</p>

(4) 板書計画

